

児童・生徒の現状・課題

・

・

具体的な手だて①

子どもが主体的に学習し、自ら見通し(学習計画)を立て、自分で決めた方法で学び考えることができる授業の実現に向けて、「見通す」「選択する」「見直す」「振り返る」場面で、どのような手だてを講じるかを記入してください。教科共通、学校全体で取り組める内容にしてください。

学び続ける力を育むための重点目標

〇

「学び続ける力」を身に付けた児童・生徒の姿

〇自分の考えをもち、行動できる(挑戦、自己理解)

〇他者とのかかわりの中で、学びを得ることができる(協調性、他者受容)

〇学習内容や学習過程を振り返り、前向きに次の学習に取り組むことができる(粘り強さ、ポジティブ)

を踏まえ、学校としてどのような授業改革に取り組むかを書いてください。

児童生徒調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(〇月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。			
②			

※12 月実施の MNE 調査の項目から学校の重点目標や手だてと関連のある項目を2つ(①は全校共通項目)選択し、昨年度の結果を基に、目標値を設定する。

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(〇月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。			
②			

校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

(例)

・研究の Classroom をつくり、日々の実践や意見、相談を日々書き込めるようにする。

・管理職の授業観察の際は、指導案を教員にも配布し、授業を互いに見合う機会をつくる。

等

総括(〇月)

校内研修実施後、校内で共通理解の上作成し、提出してください。(最終期限 8 月 31 日)

総括(1月)

児童・生徒の現状・課題

- ・対話や協働から学ぶ力が弱い。
- ・粘り強さや次回に生かそうとする意欲が低く、諦めやすい。
- ・自己理解はしつつも、行動にはつながらない。
- ・自発的に行動したり発言したりする児童が少ない。

学び続ける力を育むための重点目標

○児童が活動する中で安心して挑戦したり、自分から発信したりすることができる。(見通す場面・自己理解挑戦・他者受容)

○他者との関わりの中で、学びを得ることができる。(他者受容・協調性)

具体的な手だて①

毎時間、自らの学習への取り組み方や友達との関わりの中で深まったことを振り返り、学習の視点に沿って修正しながら取り組めるようにする。(見直す、振り返る)

具体的な手だて②

主な学習活動をホワイトボードに掲示し、45分間の見通しをもてるようにし、安心して学習に取り組めるようにする。(見通す)

具体的な手だて③

自己の課題や学習進度に合わせて児童が学習方法を選択する機会を取り入れていく。(選択する)

※肯定的回答の割合(%)

児童生徒調査	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	85.3	90.0	
②やってみたいことや挑戦してみたいことがある。	75.2	80.0	

教員調査	昨年度	目標(5月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	73.3	90.0	
②児童の興味・関心を高める工夫をしたり、児童が取り組んだことに対して、受容・称賛・励ましなどの価値付けを行ったりしている。	94.0	95.0	

校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫

- ・校内研究を中心に本校としての学習スタイルを共有していく。
- ・OJT等で各教員の実践を共有していく。

総括(5月)

全体的に学力は高いが、それがゆえに、失敗を恐れ、挑戦したり粘り強く取り組んだりする力が弱い。授業や委員会等の特別活動においても、決まったことに対しては一生懸命取り組む児童が多いが、自発的に行動したり発信したりする児童が少ないという声が多く、多くの教員から上がった。そこで、学習の中で振り返りや、児童が選択できる場面を設定し、児童が自信をもち主体的に行動・発言する力を養っていきたい。

総括(1月)